

企画展・特別展など

【展覧会名】 昭和百彩 民俗編 鶴岡ノスタルジア

【会期日数】 3月7日(土)～4月20日(月) ※39日間

【会 場】 美術展覧会場

【内容紹介】 昭和時代は「激動の時代」と称されます。日本人の生活様式を劇的に変えた「暮らしの道具」に焦点をあてながら、懐かしき昭和の時代を振り返ります。

【展覧会名】 こりゃあ、たまゲタ！ 金子皓彦コレクション 一下駄—

【会期日数】 4月25日(土)～6月28日(日) ※56日間

【会 場】 美術展覧会場

【内容紹介】 日本の伝統的な履物、下駄。その起源は、稲作に使われた農具「田下駄」にあるともいわれ、長い歴史の中で多様なかたちへと発展してきました。

本展では、日本の工芸品を世界各地から収集し、研究を進める金子皓彦氏（日本輸出工芸研究会会長）のコレクションを中心に、下駄にまつわる多彩な資料を紹介します。

こりゃあ、たまゲタ！ 下駄の未来が、ここにあり。

金子氏の蒐集仲間・坂崎幸之助氏（THE ALFEE）所蔵の引札コレクションが、特別協賛として初公開されます！

【展覧会名】 武装美伝 一刀剣と甲冑—

【会期日数】 7月2日(木)～8月31日(月) ※54日間

【会 場】 美術展覧会場

【内容紹介】 山形県内に伝わる名刀、室町～江戸期の甲冑を展示します。庄内藩主酒井家伝来の太刀銘信房作・同真光（ともに国宝）、短刀銘吉光・色々威胴丸（ともに重要文化財）をはじめ、新収蔵の豊兜、脇指銘国広も出品。武具に宿る工芸美、こだわりや伝承・伝来に迫ります。

会期中は、上林恒平刀匠（県指定無形文化財保持者）の制作実演ほか、イベント多数。

【関連イベント】 刀剣乱舞ONLINE 10回記念♥コラボ

2016年、刀剣男士・信濃藤四郎の登場に始まった刀剣乱舞ONLINEコラボレーション企画。2025年に刀剣男士・古備前信房が加わり、今回で10回目を数えます。これを記念して、スペシャル♥イベントを計画しています。

詳細は、5月1日(金)に致道博物館の公式X、HPにてお知らせします。ぜひ、チハクへ、刀剣と刀剣男士に会いに来てくださいね！

【展覧会名】 極小ミニチュアおどろき2万点 川内由美子コレクション、全部

本気で魅せます、飾ります。この規模、二度とない展覧会！

【会期日数】 9月5日(土)～11月16日(月) ※63日間

【会 場】 美術展覧会場

【内容紹介】 極小雑道具研究家・川内由美子氏のミニチュアコレクションを、一挙公開。幼少時より「本物そっくりに小さく作られたモノたち」に心を惹かれてきた川内氏。その確かな審美眼によって選抜された、精緻で奥深いミニチュアの世界が広がります。

本展は、常設展示「アンティークミニチュア洋食器（もうひとつの川内由美子コレクション）」とあわせてご鑑賞いただけます。

この規模でのコレクション公開は、今回限りとなります。

最初で最後。チハク、本気で魅せます、飾ります。

**【展覧会名】 戦国武将の手紙を分析したせいで戦国時代が嫌い、
でもそんなところが好き♡ってなるはず展**

【会期日数】 11月21日(土)～2027年1月31日(日) ※55日間

【会 場】 美術展覧会場

【内容紹介】 戦国時代、全国各地には大小多くの領主がいました。隣り合う、あるいは遠く離れた地の武将たちが、日々手紙（書状）を交わしていました。本展では、豊臣秀吉をはじめ、最上義光、伊達政宗など、山形県内に伝わる古文書を中心に紹介します。

情勢報告や贈答の礼、和平交渉などのなかには、時に人間くさい本音と建前が入り混じることもあります。手紙を読み解くことで浮かび上がる戦国模様、本展を観れば、沼ること間違いなし。

【展覧会名】 第47回 鶴岡書道会会員展

二本立て企画 書道王国鶴岡の源流

【会期日数】 2027年2月4日(木)～3月9日(火) ※30日間

【会 場】 美術展覧会場

【内容紹介】 第47回を迎える「鶴岡書道会 会員展」では、昭和8年の創設以来、流派を超えて活動してきた会員による多彩な書の表現を紹介します。

あわせて企画展「書道王国鶴岡の源流」では、黒崎研堂、松平穆堂ら、明治以降に鶴岡の書道文化の礎を築いた書家に光を当て、「書道王国」と称されるに至った地域の書の歩みをたどります。

現在の書と、その源流を同時に展観する、初の二本立て書道展です。

【展覧会名】 第33回 鶴岡雛物語

【会期日数】 2月20日(土)～4月4日(日) ※38日間

【会 場】 旧庄内藩主御隠殿

【内容紹介】 鶴岡に春を告げる恒例の行事「鶴岡雛物語」展。

当館では、旧庄内藩主酒井家や市内旧家に伝わった雛人形や雛道具などのほか、全国でも珍しい生菓子「鶴岡伝統のお雛菓子」を一堂に展示します。雅やかな彩りとともに、大名家ならではの典雅な雛祭りをお楽しみください。

【展覧会名】 ジョートーハグランカイ！ チハクのお蔵出し

【会期日数】 3月13日(土)～5月17日(月) ※57日間

【会 場】 美術展覧会場

【内容紹介】 設立から75年を経た致道博物館。長い歩みの中で収蔵された資料は、時代も分野も実にさまざま。なかには、展示機会がなかったもの、長らく眠ってきたもの、「この機会でなければ、展示できなかった」資料もあります。本展では、この“お蔵出し”資料に光を当て、当館収蔵品の奥深さを紹介します。思わず「ジョートーハグランカイ！」と声が出る、意外な発見との出会いをお楽しみください。

※「ジョートーハグランカイ（上等博覧会）」は庄内方言で、「よいもの、すぐれたもの」に出会ったときの、驚きや感動を表す言葉です。

グループ作品展

【作品展名】 2026年度 庄内姉様人形教室作品展

【会期日数】 10月予定

【作品展名】 第19回「砂の会」作品展

【会期日数】 10月31日(土)～11月3日(火) ※4日間

【作品展名】 第30回 鶴岡東洋蘭同好会「春蘭展」

【会期日数】 2027年3月予定

致道の伝統行事

●4月19日(日) 各流茶会《裏千家・大日本茶道学会》

致道博物館の「旧庄内藩主 御隠殿」と、庄内神社参集殿を会場に、茶席が設けられます。御隠殿会場は、裏千家が担当いたします。

●5月～11月の土曜日 土曜講座（全3回、各講座要申込み）

年に3回開催。約30年つづく毎年恒例の講座です。庄内の歴史や文化、致道博物館所蔵の資料に関わる内容を中心に、有識者の方々よりお話いただきます。

●6月～8月予定 少年少女古典素読教室（全14回）

江戸時代から庄内藩校致道館で行っている、論語の素読。庄内論語と称される特別な読み方を学んで、朝の爽やかな時間に、大きな声で読みあげます。

●7月24日(金) 「友の会」の集い（鶴岡・東京懇親会）

博物館の活動報告と記念講演会につづいて、友の会会員の親睦をはかる交流会を行います。

◆会場：第一ホテル鶴岡 ※お申込みが必要です。

●1月～3月の日曜日 多層民家・旧渋谷家住宅の「火たき」

冬期間、週に1～2回程度、多層民家の囲炉裏で火を焚きます。茅葺き屋根に潜む虫を退治し、煤が木部や縄に付いて建物を強くする効果があります。

●2026年2月14日(日) 先賢を偲ぶ会

西郷隆盛と庄内藩中老・菅実秀の行跡をふり返ります。明治21年より、現在の御隠殿を会場として西郷を祀る祭典を執り行うようになりました。菅の没後は「徳の交わり」を結んだ両者の遺徳を偲んでいます。

このほか企画展関連イベントなど、年間を通じて色々な事業を行っています。詳細は随時お知らせしています！

ちどうふれんず ☆致道と関わる☆

●致道博物館「友の会」

致道博物館は、郷土文化向上のため、旧庄内藩主酒井家により創設されました。江戸・明治期の歴史建造物を移築した展示室で、考古・民俗・歴史・美術分野の多様な展示がご覧いただけます。当友の会では、博物館に親しみ、庄内地域の歴史や伝統文化に触れ、文化財資料や作品の鑑賞を通じて教養を深め、会員相互の親睦をはかることを目的とします。

2026年度より、友の会の会員制度を改め、「個人会員」「法人会員」に大別いたします。個人会員は、これまでの特典（無料入館、館報「致道」お届け、イベント優先案内（希望者）、ミュージアムショップ割引など）に加え、「継続特典」「紹介特典」を追加いたしました。法人会員は「無料入館特典」「寄附控除（損金算入）適用」のいずれかを選択いただけるようにいたしました。友の会懇親会は、個人会員・法人会員の種別を問わず、皆様に楽しんでいただける懇親会を7月24日に開催いたします。

お申し込みの受付は、3月1日に開始します。期限は2026年4月1日から2027年3月31日までの1年間です。地域文化を後世へ継承していく致道博物館の「友の会」の会員として、ぜひご加入、ご参画ください！

【個人会員】

種 別	年会費	無料入館
普通会员	3,000円	会員+1名様
特別会員	6,000円	会員+3名様
賛助会員	10,000円	会員+5名様
学生会員	小中生300円／高大生400円	本人のみ

【法人会員】

種 別	年会費	無料入館
法人会員	一口10,000円～（複数口可）	6名名様
寄附会員	一口10,000円～（複数口可）	なし（控除あり）

●Chihakuサポーター（ボランティア）

2025年秋に発足した登録制のボランティア組織です。「Chihakuサポーター」も、随時募集中です。